

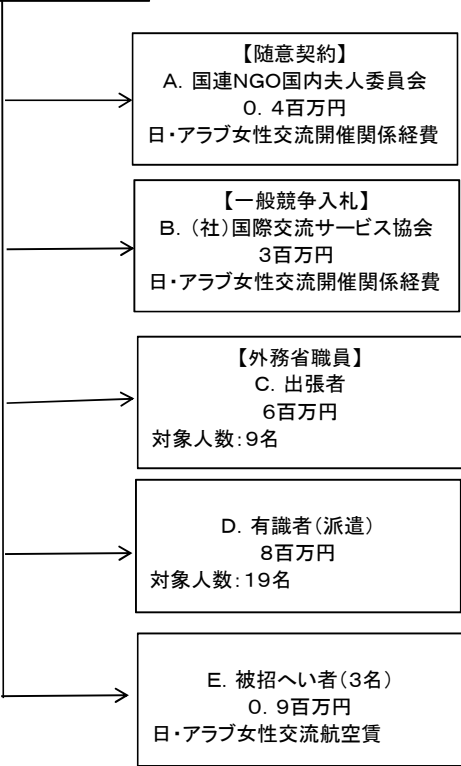
平成23年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日・中東間対話関連経費	担当部局庁	中東アフリカ局	作成責任者								
事業開始・終了(予定)年度	平成17年度開始 ・平成24年度終了(予定)	担当課室	中東第二課	課長 中込 正志								
会計区分	一般会計	施策名	中東地域外交に必要な経費									
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条第二・三項	関係する計画、通知等										
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	日本とイスラム世界との未来への対話は、次代を担う若者たちに如何に将来への展望を与えるかにつき、日本とイスラム世界の有識者、青年等が共に特定のテーマについて議論を交わし、浮かび上がった課題を整理し、最終的に提言にまとめることを想定して、2010年度から3回シリーズでセミナーを実施することとしたもの。外交的にも、イスラム世界との対話を重視する我が国の姿勢をイスラム世界全体に発信するうえで効果的な事業となっている。笹川平和財団をはじめ他のリソースも活用し、インパクトのある規模の維持に努めている。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)	いわゆる「アラブの春」を受けて、イスラム世界とは一層重層的な関係を構築する必要がある。チュニジア、エジプトから波及した最近の中東アラブ世界覚醒の原動力は、長年長期政権のもとで押さえつけられてきた若者たちの自由と民主化に向けての目覚めと将来への展望のない現状打破への渴望であると考えられる。他方で、中東イスラム世界で一旦ぐらつき始めたどのような各国の政治体制は、政治変革をもたらしたチュニジア、エジプトも含め新秩序再構築へのプロセスを踏み出したばかりである。一方、日本国内でも東日本大地震・津波・原発事故という大災害に見舞われ、この苦難をどのように乗り越えて復興を進めるかという試練に直面している。未来対話3回シリーズの最終年にあたる2012年度については、東京で、イスラム側有識者・青年の来訪を得て、「持続可能な共生社会を築くための地域協力の推進」というテーマで、混乱期に直面する日本とイスラム世界双方の若者たちが、どのような形で地域の安定と秩序回復プロセスにかかわり、地域協力のきずなを強めようとしているのかを、双方の有識者、青年の参加により議論する。第一回会合が本年3月にアラブ首長国連邦のザード大学がホストして実施された。次回(2011年度)は、イスラム側がホスト(ヨルダンを念頭に調整中)し、若者たちの能力開発に焦点を当てる。											
実施方法	☒ 直接実施 ☐ 業務委託等 ☐ 補助 ☐ 貸付 ☐ その他											
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求					
		補正予算	-	-	-	-						
		繰越し等	-	-	-	-						
		計	46	25	20	5	9					
	執行額		40	14	18							
	執行率(%)		87%	54%	90%							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)				
	【成果目標】イスラム諸国の中で我が国に対する認識を高め、日本とイスラム諸国の対話・協力のネットワークを拡大する。			成果実績	か国	21	14	8	8			
	【成果実績】参加国数。			達成度	%	100	100	100				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込				
	平成21年度までは「イスラム世界との文明間対話セミナー」を、平成22年度から24年度までは「日本とイスラム世界との未来への対話」を、毎年1回中東地域内ないし日本で開催する。			活動実績 (当初見込み)	回	1	1	1	—			
							(1)	(1)				
単位当たりコスト	18 (百万円/1会合)			算出根拠	実績額 会合数 18百万円 ÷ 1回。							
平成23・24年度予算内訳 (単位:千円)	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由								
	その他	4,924	8,640	24年度は本邦開催のため増								
	計	4,924	8,640									

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	●日本がイスラムとの対話を重視していることは、サウジやイラン、その他イスラム国との外交的なタマになっており、外務省がイニシアティブをとるにふさわしい事業となっている
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	●外務省予算を核として、他の機関の支援を呼び込む形で規模を維持している。
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	●成果物やセミナーの模様を外務省HPや日本側有識者が立ち上げて「叡智の架け橋プロジェクト」を通じて積極的に発信している
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	平成23年度より事業の見直しを行い予算の削減を図った。		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	-		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
-			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
平成23年度より「未来対話」に名称変更			

※平成22年度実績を記入

外務省
20百万円
日・中東間対話関連経費



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:百万円)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.(社)国際交流サービス協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	招へい接遇費、会議開催関係経費	3			
計		3	計		0
C.出張者			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	航空賃、日当、宿泊料	1			
計		1	計		0
D.有識者(派遣)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	航空賃、日当、宿泊料	1			
計		1	計		0

費目・使途
 「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載

支出先上位10者リスト

A.国連NGO国内夫人委員会

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国連NGO国内夫人委員会	招へい者に対する接遇等	0.4	随意契約	
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

B. (社)国際交流サービス協会

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(社)国際交流サービス協会	会議開催、宿舎・配車の手配、招へい者に対する接遇	3	7	81%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10者リスト

C. 出張者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	1		
2	個人B	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.8		
3	個人C	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.8		
4	個人D	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.8		
5	個人E	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.7		
6	個人F	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.7		
7	個人G	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.5		
8	個人H	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.3		
9	個人I	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.3		
10					

支出先上位10者リスト

D. 有識者(派遣)

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	1		
2	個人B	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.6		
3	個人C	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.6		
4	個人D	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.6		
5	個人E	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.6		
6	個人F	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.6		
7	個人G	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.6		
8	個人H	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.6		
9	個人I	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.5		
10	個人J	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.4		

支出先上位10者リスト

E. 被招へい者

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.3		
2	個人B	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.3		
3	個人C	出張旅費(航空賃、日当、宿泊料)	0.2		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					